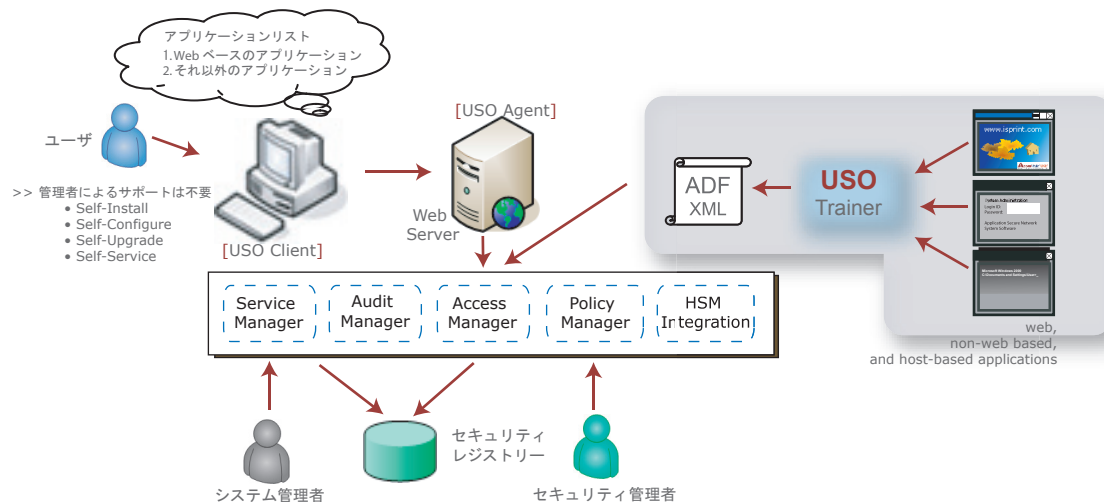


なぜUSOが多く金融機関で採用されているのか

USOの金融機関対応の機能と特徴

1. **ID・パスワード管理者のためのインプット/チェッカー機能が標準装備**
 エンドユーザーのID・パスワードの新規登録・変更・削除に際しオペレーターと管理者の2名の関与がなければ、実施できないように設定することが可能です。
2. **階層構造化された権限委譲機能 (ビジネス特許取得済)**
 階層構造の組織においてポリシードリブンでのセキュリティとユーザー管理権限の委譲が可能であり、子会社や部署ごと、テナントの運用も可能です。また、これらの機能は、すべて銀行グレード4-A (認証、認可、管理、監査)基盤の上に造られております。
3. **エンタープライズ向けの強力なパスワード・ポリシー構成設定機能**
 アプリケーション・プログラムが十分なパスワードのポリシーを持っていない場合でもUSOでパスワードのポリシーが設定できます。USOのポリシーの設定機能はコンプライアンスの要求に十分対応可能な強度を有しております。
4. **各種セキュリティ・デバイスに対応 (HSM、2FA)**
 業界標準の2要素ログインのデバイスに対応しております。また、各社の業界標準HSM製品に標準対応しておりますので、データベース管理者による情報漏洩を回避できます。これらの機能は多くのグローバルな金融機関様から、ご要望を頂いております。
5. **強力な暗号化モジュール**
 AES,SHA,HMAC-SHA, 3 DS, MD5等の暗号化アルゴリズムを標準装備しております。また、外部からのAPIコールを含む全てのモジュール間の通信はSSLにより暗号化しております。
6. **グローバルな金融機関のコンプライアンスおよび監査基準に合致**
 i-Sprintの製品はグローバルな金融機関(シティバンク, ABN-Amro, ING-Bank, その他)の内部監査およびコンプライアンス部門の要件をすべて満たしております。従いまして、監査の際に監査官から求められるレポートを迅速にそろえることが可能です。
7. **強力な外部インテグレーション機能**
 他のプロビジョニング (IDM) システム等とのインターフェースに際しては、各種XML-RPCにより強力な統合機能を標準装備しております。インターフェースの際にはシステム間のデータ暗号化を行います。
8. **多くのWEB、エンタープライズ・アプリケーションに対応**
 WEBアプリだけではなく、ホストエミュレーターや、クライアント・サーバー型のアプリケーションにも対応しております。ほとんどのアプリケーションに対してシングル・サインオンを実現します。また、USOはアプリケーション・プログラムのアクセス・リストをユーザーに提供します。
9. **グローバルな金融機関のコンプライアンス、監査、インフラ部門の経験者がシステムを構築**
 銀行業務やミッションクリティカルな業務にもお使い頂けるよう。セキュリティや冗長化など十分な配慮がなされております。
10. **ID・パスワード管理部門およびユーザー部門において30%のコストダウン**
 IDとパスワードを扱う部署およびエンドユーザーにおいて30%のコスト削減が可能との報告がなされております。一旦パスワードを失効してしまうと、その回復のために多くの時間が消費されてしまうのは、周知の事実となっております。シングル・サインオン・システムはその無駄な労力を削減することが可能です。



AccessMatrix™ Universal Sign-On (USO) の機能と特長

USO は AccessMatrix フレームワークを利用しています。USO 独自の機能に加え AccessMatrix の主要な機能を利用できます。

以下に主な USO の特長をまとめています。

簡単な導入

・シングルサインオンを実現するためにアプリケーションのログインやパスワード変更画面を学習します。アプリケーション側のソースコードを変更する必要はありません。この手法により大変簡単に USO システムへアプリケーションを統合することが可能になります。

金融レベルのセキュリティ

・主だった HSM(Hardware Security Modules) ベンダーの HSM による暗号鍵を保護します。

既存のポータルとの連携

・組織で使用されているポータルと簡単にインテグレーションが行え、USO によりシングルサインオン環境を提供します。

自動的なクライアントのインストール

・煩雑な作業無しにユーザの PC にインストールを行います。

強力な認証・簡単な管理

・USO は、メジャーなトークン・ベンダーの様々な二要素認証デバイスをサポートしています。

簡単に利用が可能

・ユーザが USO 対象のアプリケーションに最初にアクセスするとき、ユーザが USO クライアントにユーザ ID とパスワードを登録することが可能です。

安全な通信

・USO コンポーネント間の全通信は SSL を使用することにより暗号化されています。

パスワード変更を含む管理

・パスワード変更画面が表示されたときに、管理者はそれぞれのアプリケーションに対して定義されたポリシーにあうパスワードを生成させる自動パスワード変更オプションを選択できます。マニュアルパスワード変更の場合は、ユーザにパスワードを入力させることにより対応します。対象となるアプリケーションと USO のデータベースでパスワードの同期が取れていない場合はユーザが登録されているパスワードをリセットすることが可能です。

モビリティ

・USO の PSE (Personal Security Environment) 機能やハードウェアトークンによりユーザのログイン情報やアプリケーション属性を保管することが可能です。この機能によりユーザが USO サーバに接続していなくても、シングルサインオン機能を利用することが可能です。

セキュリティ機能のアップグレード

・より統合され、高度なアクセスコントロールを実現したい場合 UAM と組み合わせることが可能です。AccessMatrix セキュリティサーバに UAM を組み込むことで管理の一元化を実現しています。

AccessMatrix™ について

AccessMatrix™ は i-Sprint 社の特許である階層モデルテクノロジー (Hierarchy Model technology (PCT/SG02/00027)) をベースにしています。USO は共通フレームワークである AccessMatrix 上で動作します。USO は AccessMatrix セキュリティ・サーバにある基本的な機能を利用し、さらに他の製品と組み合わせることも可能です。AccessMatrix はユーザが web やアプリケーションサーバなどの複数のイーコマースや企業内システムに対して集中的に認証、承認、監査サービスを提供します。管理者が簡単にしかも効率的にアプリケーションへのアクセス許可、ユーザ権限、セキュリティポリシーを組織全体にたいして管理するために、一元的かつ包括的なポリシー管理サービスを提供します。

簡単なユーザ管理

AccessMatrix の階層モデルにより、組織のレベルごとに管理者を分担させることが可能です。管理者の役割を分担させることで、セキュリティをより高め、セキュリティ管理者を分散させ、高いレベルでのアカウントバリティ (説明責任) を実現します。たとえば社内だけでなくビジネスパートナーがもつユーザの ID や権限を、ビジネスパートナー自身が管理するといったことも可能です。ユーザ情報は、既存のレジストリー例えば LDAP や Microsoft Active Directory を利用することが可能です。

大規模組織における簡略化した

セキュリティポリシーの拡張

全社的なセキュリティポリシーを実際の組織構造にあわせて階層的に定義し、管理することが可能です。組織全体のセキュリティポリシーの実施を一元的に行うことが可能です。

グローバルバンクでも必要な「ベストなセキュリティを 実践」するための管理機能をサポート

AccessMatrix はデュアルコントロールにより、各管理者の権限を最小限にし、責任範囲を明確にします。このような機能は金融業界をはじめその他の業種においても重要です。セキュリティ管理者の組織内の役割に適切な権限にあわせてきめ細かく管理者権限を割り当てることができず。設定者一確認者またはデュアルコントロールにより、ある一人の管理者が設定変更をした場合、他の管理者によって確認と承認を得た後でないと変更が有効にならないようになっています。さらに AccessMatrix は同一アプリケーション権限についてはユーザは複数のロールを設定することができません。これは設定の複雑さによるミスを防ぐためのものです。アプリケーションごとにアプリケーションに適切なロールを定義することが可能です。

JAVA 実装により、拡張性とプラットフォームに依存しない コストパフォーマンスが高いソリューション

AccessMatrix セキュリティサーバは Java テクノロジーと標準規格を使用しているため、Java Run-time 環境が動作するプラットフォームで利用することが可能です。

株式会社ハイ・アベイラビリティ・システムズ
ソリューション&コンサルティング事業部



〒108-0023
東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル2F
TEL 03-5730-8870 FAX 03-5730-8619
email inquiry@ha-sys.co.jp
URL http://www.ha-sys.co.jp